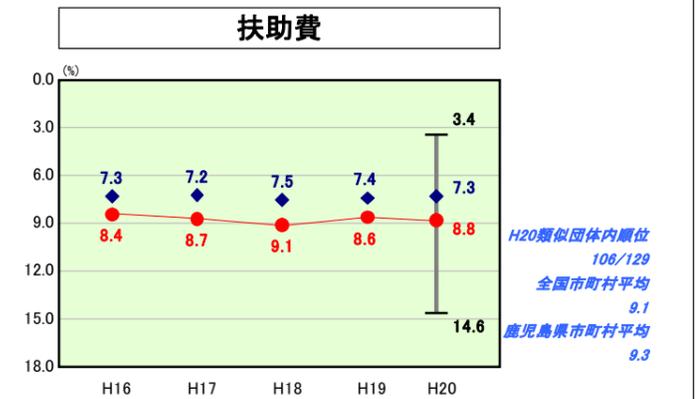
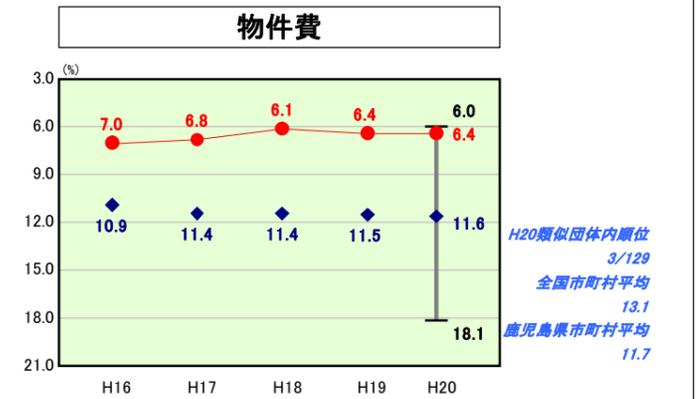
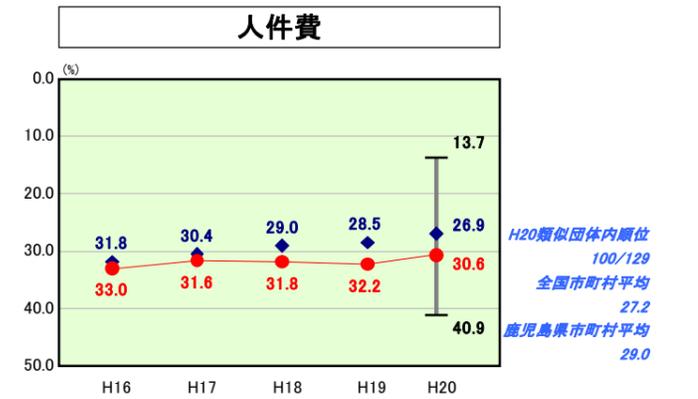
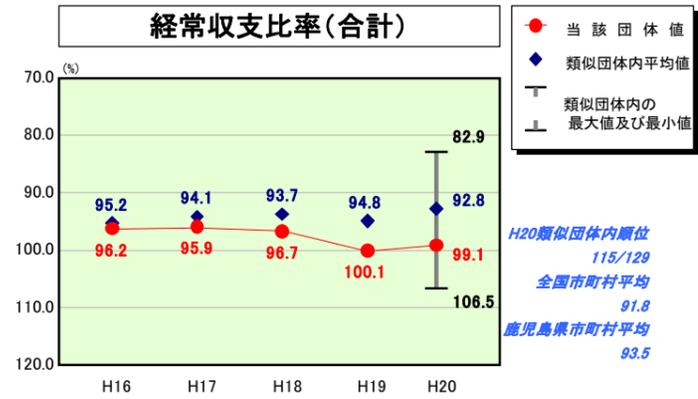
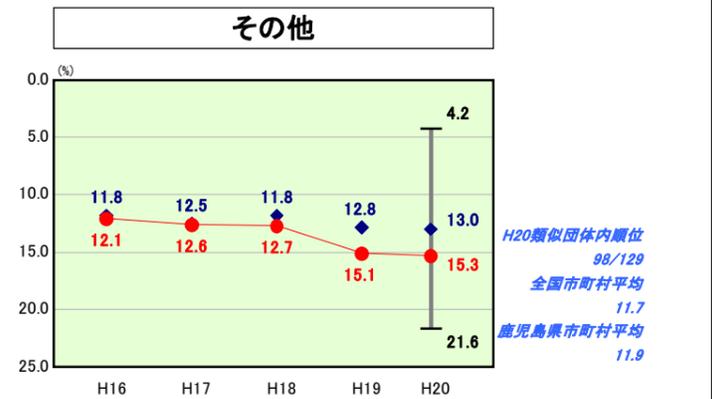
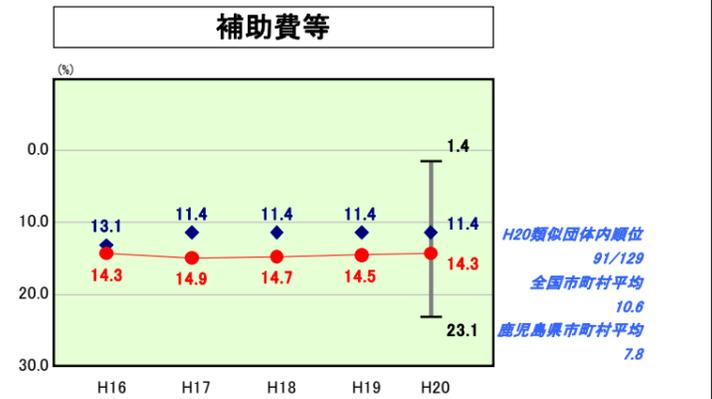
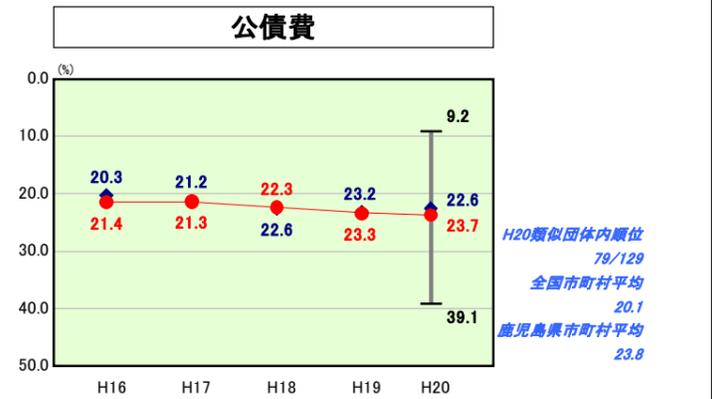
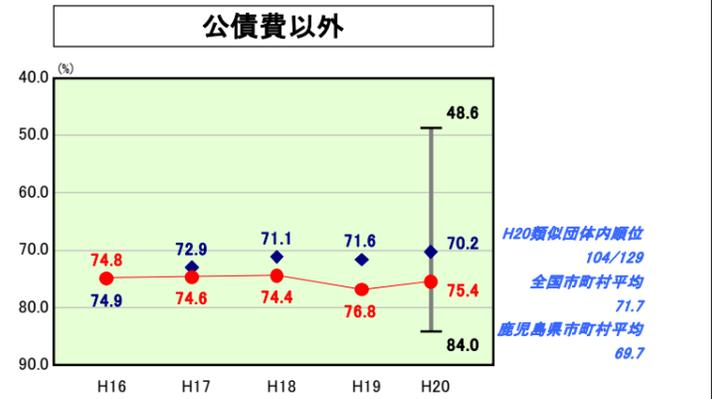
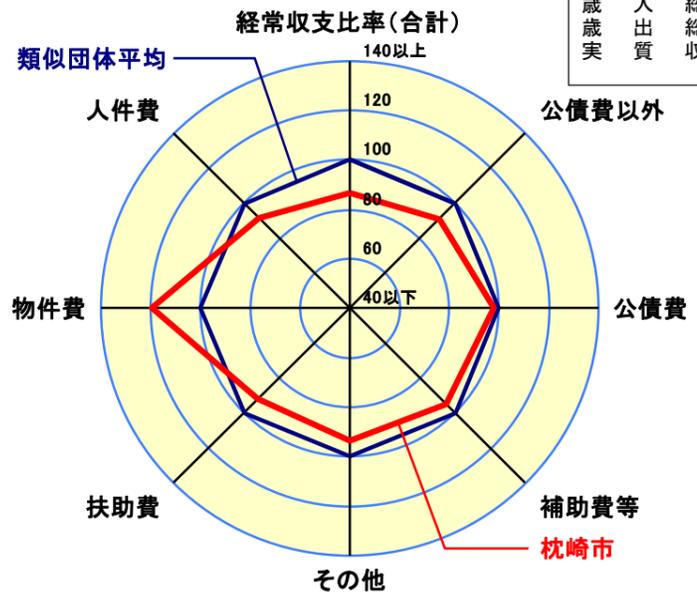


歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

経常収支比率の分析



人口	24,425人(H21.3.31現在)
面積	74.88 km ²
標準財政規模	6,399,531千円
歳入総額	9,667,706千円
歳出総額	9,448,926千円
実質収支	186,914千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

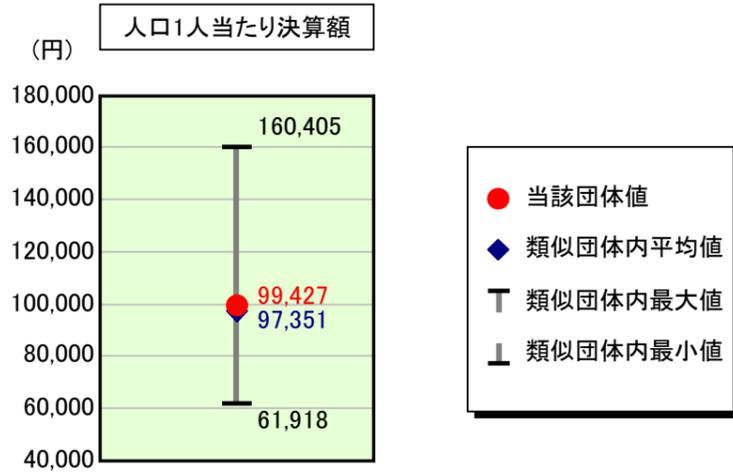
分析欄

- 人件費 30.6%**
 人件費の経常収支比率については、特別昇給や特殊勤務手当の見直しなどの給与制度の見直しを進めるとともに、嘱託員化による職員数の削減、更には平成16年10月から職員給与カットを実施してきており、各年度において退職手当の増減による影響があるものの減少してきている状況である。
- 物件費 6.4%**
 物件費に係る経常収支比率については、毎年度徹底した事務事業の見直しを行ってきており、類似団体と比較すると歳出抑制に一定の効果を上げている。今後とも集中改革プラン等に基づいた行財政改革の取り組みを進め、更なる物件費の削減に努めていく。
- 扶助費 8.8%**
 扶助費に係る経常収支比率については、社会保障関係の対象者の増加や児童手当などの子育て支援の拡充により前年度に比べ0.2ポイント増加し、類似団体の平均と比較しても高い水準にある。今後は、単独扶助費等についても制度面からの見直しを実施して比率の改善を図っていく。
- 公債費 23.7%**
 公債費に係る経常収支比率については、災害対策事業等の主要施策を推進してきたことから、類似団体の平均と比較すると若干高い水準にあるが、公債費負担適正化計画に基づいた取組みや公的資金補償金免除繰上償還制度を活用した高金利の地方債の繰上償還によって、今後はその効果が現れてくる見込みである。
- 補助費等 14.3%**
 補助費等に係る経常収支比率については、ごみ処理施設建設に係る衛生管理組合への負担金等の影響で、類似団体の平均と比較すると高い水準にあるが、これに係る負担金の支払いが平成23年度に終了することから、大幅な減少が現れてくる見込みである。
- その他 15.3%**
 その他の経常収支比率については、繰出金において、下水道事業会計への繰出金が総額では減少したものの平成18年度から新たな繰出基準として創設された「分流式下水道等に要する経費」の影響で、経常経費であるところの繰出基準に基づく繰り出しが大幅な増となったことから類似団体の平均と比較しても高い水準となっている。今後とも集中改革プラン等に基づいた行財政改革の取り組みを進め、更なる経費の削減に努めていく。

歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

鹿児島県 枕崎市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



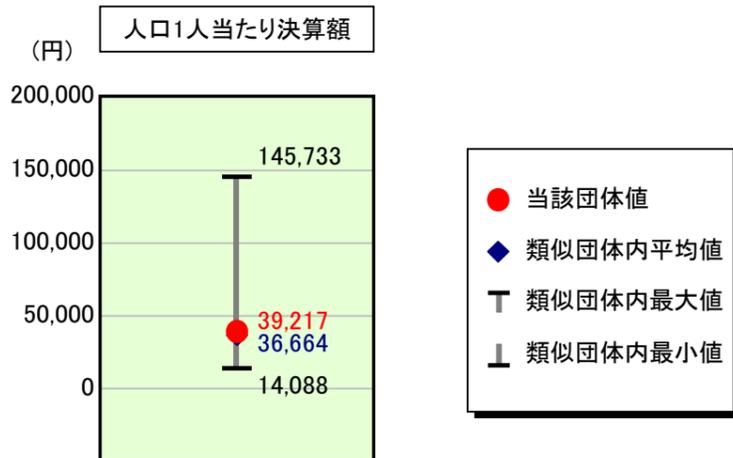
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	2,185,580	89,481	87,834	1.9
賃金(物件費)	4,907	201	4,894	95.9
一部事務組合負担金(補助費等)	327,762	13,419	9,731	37.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	687	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	105,867	4,334	3,500	23.8
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	91,900	3,763	1,822	106.5
▲退職金	▲ 287,511	▲ 11,771	▲ 11,117	5.9
合計	2,428,505	99,427	97,351	2.1

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	9.21	9.50	▲ 0.29
ラスパイレス指数	96.4	95.6	0.8

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

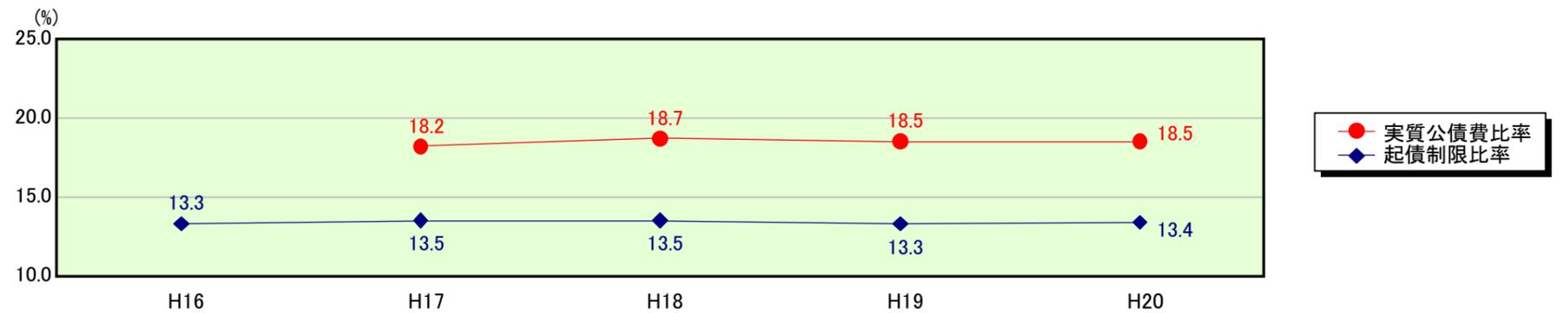


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	1,527,712	62,547	61,539	1.6
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	39	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	220,945	9,046	15,807	42.8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	379,654	15,544	4,424	251.4
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	23,481	961	2,297	58.2
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	708	29	33	12.1
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	1,194,615	48,910	47,475	3.0
合計	957,885	39,217	36,664	7.0

平成21年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体については、「-」としている(以下の項目について同じ。)

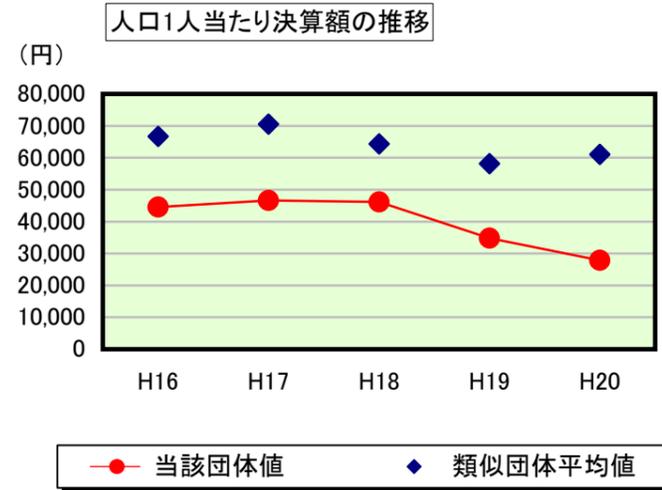
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

鹿児島県 枕崎市

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H16	1,149,485	44,566	5.1	66,667	13.8	8.7
うち単独分	777,227	30,133	▲ 8.1	29,927	▲ 22.2	14.1
H17	1,190,922	46,642	4.7	70,563	5.8	1.1
うち単独分	859,350	33,656	11.7	38,225	27.7	▲ 16.0
H18	1,163,213	46,185	1.0	64,305	8.9	7.9
うち単独分	915,079	36,333	8.0	34,136	▲ 10.7	18.7
H19	861,803	34,794	24.7	58,137	9.6	15.1
うち単独分	699,375	28,236	▲ 22.3	29,406	▲ 13.9	▲ 8.4
H20	680,620	27,866	19.9	61,050	5.0	24.9
うち単独分	498,407	20,406	▲ 27.7	31,167	6.0	▲ 33.7
過去5年間平均	1,009,209	40,011	▲ 9.2	64,144	▲ 4.3	▲ 4.9
うち単独分	749,888	29,753	▲ 7.7	32,572	▲ 2.6	▲ 5.1